

電子くじについて

1. 電子くじとは

入札において、落札（候補）となるべき同価の入札をした者が2者以上の場合に、以下のしくみによって電子的にくじを実施し、落札（候補）者を決定するものです。

2. 電子くじの仕組み

- (1) 入札書提出時、応募者は任意の3桁の「くじ入力番号（「000」から「999」の数字）」を入力します。
紙入札で参加の場合は、入札書に記載された「くじ入力番号」を開札時に契約監理課においてシステムに入力します。なお、紙入札において「くじ入力番号」の記載の無いものは「くじ入力番号」を「000」とします。
- (2) 入力された「くじ入力番号」にシステムで発生させる乱数（数字3桁）を加算し、加算された数字の下3桁を「くじ番号」とします。
（「くじ番号」は、入札書提出後、「入札書受付票」で確認することができます。）
- (3) 電子くじ対象業者について、システムにおいて入札書を受信した順に、0、1、2…と入札書到着順位をつけます。また、紙入札による場合も同様に入札書の提出順に入札書到着順位をつけます。その際、紙入札の順位は、電子入札の順位の後に付加するものとします。
- (4) 次の数式で得られた「余り」の整数に一致した入札書到着順位の応募者が落札（候補）者となります。

電子くじ対象業者のくじ番号（くじ入力番号+乱数）の合計÷電子くじ対象業者数

3. 電子くじの判定例

A社、B社、C社、D社の電子入札による参加者とE社、F社、G社の紙入札による参加者が同価格で電子くじを行う場合

- (1) 入札書受信（提出）日時の早い順番に0（ゼロ）番から順位を割り当てます。

電子入札による参加者が順位の先頭になり、続いて紙入札による参加者が入札書の提出順に設定されます（*2）。

入札参加者	入札書受信（提出）日時	くじ入力番号	乱数	くじ番号（*1）	入札書到着順位	区分
A社	2010/10/1 9:12:36	1 1 1	9 9 1	1 0 2	0	電子
B社	2010/10/1 13:25:51	5 1 1	5 0 3	0 1 4	1	電子
C社	2010/10/2 14:15:11	1 2 3	2 4 1	3 6 4	2	電子
D社	2010/10/2 15:56:05	1 2 3	8 0 8	9 3 1	3	電子
E社	2010/10/2 9:30	6 7 8	3 9 2	0 7 0	4	紙
F社	2010/10/3 11:00	0 0 0	6 0 6	6 0 6	5	紙
G社	2010/10/3 14:00	0 0 0	0 1 2	0 1 2	6	紙

(*1) くじ番号…くじ入力番号と乱数の合計値の下3桁

(*2) 郵便入札との併用期間中は、桑名郵便局に郵便入札専用封筒が到着した順番とし、到着時間帯が同じ入札書が複数ある場合はその中で桑名市で定める業者番号順に順位を設定します。

(2) 当選番号（余り）の計算をします。

「くじ番号の合計」÷「電子くじ対象業者数」の計算の結果、余り＝6となり、入札書到着順位＝6であるG社が落札（候補）者となります。

入札参加者	入札書到着順位	くじ番号	計算結果	余り	落札(候補)者
A社	0	102	(102+014+364+931+070+606+012) ÷7 =299 余り 6	6	G社
B社	1	014			
C社	2	364			
D社	3	931			
E社	4	070			
F社	5	606			
G社	6	012			

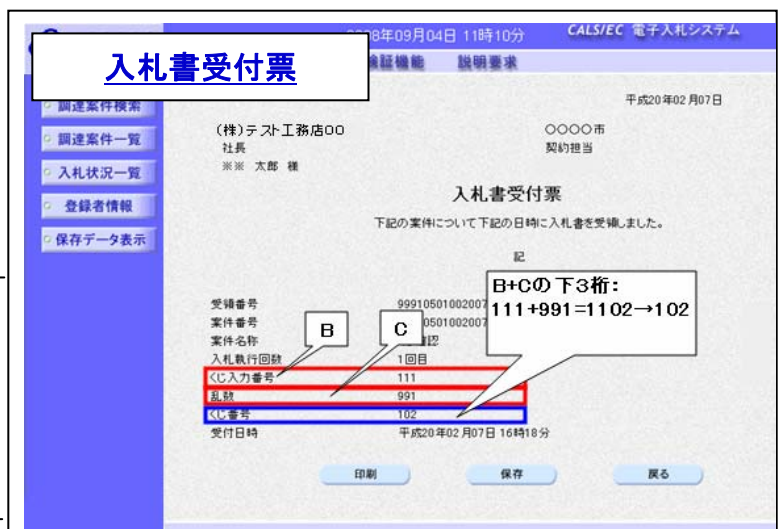
【参考】

くじに用いる情報は、電子入札システムで入札書を送信した後に確認することができます。

A 入札書受信日時
(入札書がシステムに正常に格納された時間)



B くじ入力番号
(入札参加者が入札書提出時に入力した任意の3桁の数字)



C 乱数
(入札書受付票発行時にシステムが自動的に発行する3桁の数字)